

パブリックコメントによる意見募集結果

■概要

- ・案の名称：台東区住宅マスタープラン 中間のまとめ
- ・意見募集期間：平成 26 年 12 月 15 日～平成 27 年 1 月 9 日
- ・意見受付件数：2 人 3 件

	ご意見の概要	ご意見に対する区の考え方	該当頁	修正等の対応
基本目標 1- (2) 高齢者・障害者の居住の安定確保				
1	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリーについての記載があるが、台東区においては高齢者の人口も多く、高齢者の浴室での事故（ヒートショック）を未然に防ぐため、「住宅の温度を含む総合的なバリアフリー化」の記述を提案する。また、総合的なガイドブックの作成と記載されているので、上記観点も考慮しての作成を提案する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本区では、高齢化率が 23.1%（平成 25 年 1 月 1 日時点）と高いことから、今回の住宅マスタープランでは、高齢者等が住み慣れた地域で、安心して暮らし続けることができるよう、福祉施策と連携した支援を実施することとしています。 ・住まいに関する情報提供の推進と相談体制の充実の中で、高齢者等に対する住まい全般に関する相談体制を強化することとしており、例えば、高齢者世帯がヒートショックなどの家庭内事故を防止するために浴室改修を行うなど、区民がそれぞれのニーズに対応した住宅リフォームを行えるよう、住宅関連施策に関する総合的なガイドブック等を活用して情報提供に取り組んでいきます。 	<p>p 29 p 33</p>	<p>ご指摘いただいた内容は、総合的なガイドブック等を作成する際の参考とさせていただきます。</p>
基本目標 2- (1) 住宅性能の向上支援				
2	<ul style="list-style-type: none"> ・＜③長寿命・環境共生型住宅の普及促進＞に記載してある内容が理解しづらいことから、こちらに記載してある「長期優良住宅」や「低炭素住宅」「住宅性能表示制度」の詳細説明の記載も提案する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の住宅マスタープランでは、区民の快適な暮らしを実現するために、住宅の長寿命化や環境への配慮などの総合的な取組みにより、良質な住宅ストックの形成を目指します。 ・住まいに関する様々な情報の周知や相談体制の充実を図るとともに、本計画においても、区民の皆様に分かりやすい表現に努めていきます。 	<p>p 31</p>	<p>本計画中の難解な用語については、本編の最後に「用語解説」を設けることとしております。ご指摘いただいた内容は、「用語解説」を作成する際の参考とさせていただきます。</p>
その他のご意見				
3	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の台東区住宅マスタープランの中間におけるまとめは良い。私が言いたいのは、東京オリンピックを見据えての「東京マラソン」のルート変更です。本年 3 回程、都庁の総務部の方々に F A X にて申し入れました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の住宅マスタープランは、台東区が、誰もが安心して、いきいきと誇りを持って住み続けられるまちであるための、今後 10 年間の住宅施策をお示したものでございます。 ・今後も住宅施策の一層の充実に努めてまいります。 	<p>-</p>	<p>-</p>